科目名	マーケティング								2025
英語科目名	Mark	Marketing Method						学期	前期
学科・学年	AIシステム科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	木村悠貴	教員の実務経験		有	実務経験	険の職種	プランナー		

### 【科目の目的】

市場調査における効果的な情報収集の手段や収集した情報の分析手法を身につける。

#### 【科目の概要】

市場調査における効果的な情報収集の手段や収集した情報の分析手法を身につける。

#### 【到達目標】

マーケティングとは何か及び、重要性を理解できる。基礎的な分析手法について理解できる。

#### 【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を 前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は最終評価を受けることがで きない。

評価基準=ルーブリック										
ルーブリック	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル 1					
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力					
到達目標 A マーケティング理論の 理解	・マーケティングの理論 を総合的に理解してお り、市場の動向や消費者 の心理について高い知識 を持っている。	マーケティングの基本的 なアイデアや理論をある 程度理解している。	マーケティングの基本的 なアイデアやプロセスを 一般的に理解している。	マーケティングの基本的 なアイデアを少し理解し ている。	・マーケティングの基本 的な概念や言葉を理解し ていない。 ・市場や消費者に関する 基本的な知識が不足して いる。					
到達目標 B 市場分析と自社分析の 実施	市場や自社分析の戦略的 な意義を理解し、データ 収集の計画や分析手法を 選択できる。	市場や自社分析の目的や プロセスを理解してお り、さまざまなデータ収 集方法を知っている。	市場や自社分析の重要性 を理解しており、基本的 な分析方法について理解 している。	市場や自社分析の基本的な目的を知っている。	・市場や自社分析の必要性を理解していない。 ・分析に必要なデータ収集や方法について知識が不足している。					
到達目標 C マーケティング戦略の 概要の把握	マーケティング戦略が企業の長期的な成功にどのように貢献するかを理解しており、具体的な事例を挙げることができる。	マーケティング戦略が競合環境や顧客のニーズに合わせて設計されることを理解している。	マーケティング戦略が企 業のビジョンや目標とど のように結びつくかを理 解している。	マーケティング戦略の一般的な目的や要素について知っている。	マーケティング戦略の概 要や目的を理解していない。					
到達目標 D 新製品・サービス開発 のマーケティング	新製品・サービス開発の ための市場セグメンテー ションやターゲット設 定、ポジショニングの考 え方について深く理解し ている。	新製品・サービスの特徴 や利点を顧客に伝えるた めのマーケティング戦略 の考え方を理解してい る。	市場トレンドとどのよう	新製品・サービスの開発 プロセスの基本的なス テップを理解している。	新製品・サービス開発の プロセスや重要性が理解 出来ていない。					
到達目標 E ブランド戦略とWebマー ケティングの理解	・ブランド戦略が企業の 長期的な成功に与える影響を深く理解している。 ・Webマーケティングの 中でのトレンドや最新技 術についても情報を持 ち、戦略に統合できる能 力がある。	・ブランド戦略が企業の価値やイメージに与える 影響を理解している。 ・Webマーケティングの 中での戦略的な要素の理 解がある。	ブランド戦略の目的やブランドの構築方法について一般的に理解している。	・プランドの意味や影響 力を基本的に理解している。 ・Webマーケティングの 基本的な要素 (ウェブサイト、ソーシャルメディ アなど) を理解している。	ブランド戦略やWebマー ケティングについて何も 知識がない。					

## 【教科書】

配布資料

## 【参考資料】

# 【成績の評価方法・評価基準】

各授業後に出される課題と、テスト、提出物を総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

	科目名	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					2025			
	英語表記	Marketing Method			Method	学期	前	期		
回数	授業テーマ	各授業の目的	Т	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価		
		;マーケティングの理 論、4Pと4Cを理解する	マー 1 論	ケティングの基本理	マーケティングの基本的な理論とコンセプトについ し、市場と顧客の重要性を認識する。	て理解				
1	ガイダンスマーケラ		2 4Pの	概念	4Pの要素とその相互関係を理解し、製品やサービスの価格設定、流通、プロモーションの戦略を構築できなる。		3			
			3 4CO	概念	4Cの要素を把握し、顧客の視点で考えて顧客のニーナ戦略を構築し、効果的なコミュニケーションを通での競争力を向上させる能力を身につける。					
			1 市場	分析とB2B	市場分析の基本的な手法を理解し、顧客のニーズや 性を把握できるようになる。	市場の特				
2	市場の分析と自社の分析	市場分析、B2B、AIDA、 AIDMA、AISAS、イノ ベータ―理論、3C分析 を理解する	2 購買 (AI	プロセス理論 DA、AIDMA、AISAS	購買プロセス理論を理解し、顧客の心理的な動向を 効果的なマーケティングメッセージと戦略の設計能 つける。		3			
				3 イノ 析	ベーター理論と30分	イノベーター理論と3C分析を通じて市場セグメンテと競争分析のスキルを向上させ、戦略的なマーケテランの構築と実行に取り組む能力を獲得する。				
	市場の分析と自社の分析	5F分析、PEST分析、	5F分析、PEST分析、 SWOT分析、PPM、クープ マンモデル、PLCを理解		5F分 1 分析		5F分析、PEST分析、SWOT分析の手法を習得し、企業境を適切に評価できる能力を獲得する。	の内外環		
3				r分析、PPM、クープ ンモデル、PLCを理解 2 Management) とクープマ 化と市場シェアの増加に寄与する戦略の構築能 化と市場シェアの増加に寄与する戦略の構築能		3				
				PLCの概念と各段階の特性を把握し、製品のライフサとのマーケティング戦略を適切に計画・実行する能のける。						
	マーティングの基 本戦略	STP、ポジショニングの 4分類、市場シェアを理 解する		1 Targ	(Segmentation, eting, tioning) の理解	STPアプローチを理解し、市場を適切にセグメント化 グット市場を選定する能力を養う。	<b>ご</b> し、ター			
4			2 ポジ	ショニングの4分類	ポジショニングの4分類を理解し、自社製品やサーヒ 力を強化するための適切なポジショニング戦略を策 キルを向上させる。		3			
			3 市場	シェアの理解と分析	市場シェアの重要性を認識し、市場データを分析し市場シェアを評価し、競争状況に合わせた戦略を立ま力を獲得する。					
		Table   Ta	1			ハワードシェス・期待不確実性モデルを通じて消費 決定プロセスを理解し、商品やサービスの受け入れ・ 影響する要因を把握する能力を獲得する。				
5	マーティングの基 本戦略		ESとCSの概念を理解し、感情的満足度と認知的満足 や影響を理解し、消費者の満足度向上に向けた戦略 能力を向上させる。		3					
			3 DAGM	AR理論の理解	DAGMAR理論を理解し、広告目標の設定と広告効果の を学び、効果的な広告戦略の立案と評価を行うスキ させる。					
	新製品・サービス 開発	商品化プロセス、イノ			商品化プロセスの各段階を理解し、新商品の開発か 入までのプロセスを効果的に管理できる能力を獲得					
6			ベーションと常識の 理解	イノベーションの重要性を理解し、常識の壁を乗り。 たなアイデアやアプローチを創出し、市場に展開する 柔軟な思考力を養う。		3				
				3 ラテ の理		ラテラルマーケティングの概念を把握し、異なる視. からのアプローチを統合して新たなビジネスチャン. し、競争優位性を築くスキルを向上させる。				

			1	販路の理解	異なる販路戦略の利点とリスクを理解し、商品やサービスの 市場展開に適切な販路戦略を選択・計画できる能力を身につ ける。																							
7	新製品・サービス 開発	販路、ゲーミフィケー ション、価格戦略を理 解する	ション、価格戦略を理	2	ゲーミフィケーションの 理解	ゲーミフィケーションの概念と実際の適用事例を理解し、クリエイティブな方法で顧客エンゲージメントを促進するスキルを発展させる。	3																					
			3	価格戦略の理解	価格戦略の理論と実践を組み合わせて、競争力のある価格設 定を行うための能力を向上させる。																							
	新製品・サービス 開発	サービス展開、真実の 瞬間、SERVQUALモデ ル、サービスドミナン トロジックを理解する	1	サービス展開の理解	サービス展開のプロセスや要点を理解し、戦略的なサービス 提供を計画・実行できるスキルを習得する。																							
8			2	真実の瞬間の理解	真実の瞬間の重要性を認識し、顧客体験の向上を図るための 戦略的なアプローチを理解し、実践できる能力を身につけ る。	3																						
			3	SERVQUALモデルとサービ スドミナントロジックの 理解	SERVQUALモデルとサービスドミナントロジックの理論を理解し、顧客の評価や価値創造に関する洞察力を高め、サービスの質の向上に寄与するスキルを発展させる。																							
			1	ミクロマーケティングの 理解	ミクロマーケティングの概念やターゲット市場の細分化方法 を理解し、戦略的な市場セグメンテーションを行うスキルを 習得する。																							
9	今ある商品を売る	ミクロマーケティン グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー ケティングを理解する	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	グ、RFM分析、ダイレク ト・ワントゥワンマー	2	RFM分析の理解	RFM分析の基本と顧客価値評価の手法を理解し、効果的なター ゲティングや顧客戦略の策定能力を発展させる。	3	
			3	ダイレクト・ワントゥワ ンマーケティングの理解	ダイレクト・ワントゥワンマーケティングのアプローチや パーソナライゼーションの手法を学び、個別顧客への対応能 力と顧客忠誠度の向上を図るスキルを身につける。																							
	今ある商品を売る	パーミッション・コー ズリレーテッドマーケ ティング、CRMを理解す る	ズリレーテッドマーケ ティング、CRMを理解す	ズリレーテッドマーケ ティング、CRMを理解す	ズリレーテッドマーケ ティング、CRMを理解す	ズリレーテッドマーケ ティング、CRMを理解す				1				1 リレー		パーミッション・マーケティングの概念と顧客同意に基づく コミュニケーション戦略を理解し、顧客からの信頼を得るス キルを習得する。												
10							2	コーズリレーテッドマー ケティングの理解	コーズマーケティングのアプローチや社会的責任に基づくブランド戦略を学び、ブランドの社会的影響力を活用したマーケティングの能力を発展させる。	3																		
			3	CRM(Customer Relationship Management)の理解	CRMの基本原則と顧客関係の重要性を認識し、顧客データの活用やパーソナライゼーションによる顧客満足度向上の手法を身につける。																							
			1	ブランド価値の理解	ブランドの意味や価値を認識し、顧客との深い関係を築くた めにブランド戦略の重要性を理解する。																							
11	ブランド戦略	ブランド価値、ナショ ナルブランド、レゾナ ンスピラミッドを理解 する	ナルブランド、レゾナ ンスピラミッドを理解	2	ナショナルブランドの特 徴と戦略	ナショナルブランドの戦略や国際的なブランド展開に関する 知識を身につけ、グローバル市場での競争力を高める方法を 考える能力を養う。	3																					
			3	レゾナンスピラミッドの 概念	レゾナンスピラミッドの階層を理解し、消費者との深い結び つきを築くための戦略を考え、ブランドロイヤルティを向上 させる能力を発展させる。																							
			1	顧客ロイヤリティの概念 と重要性	顧客ロイヤルティの重要性を理解し、顧客の長期的な関係を 築くための方法や戦略を考える能力を養う。																							
12	ブランド戦略	顧客ロイヤリティ、ブ ランドポートフォリオ 戦略、スポンサーシッ ブマーケティングを理 解する	ランドポートフォリオ 戦略、スポンサーシッ プマーケティングを理	オ ブランドポートフォリオ ブランドポートフォリオの概念と意義を理解し、 2 齢眩の理解	ブランドポートフォリオの概念と意義を理解し、複数のブラ ンドを組み合わせる際の戦略的な判断力を発展させる。	3																						
			3	スポンサーシップマーケ ティングの活用	スポンサーシップマーケティングの基本と活用方法を理解 し、ブランドの露出と影響力を高めるための戦略を考案する 能力を身につける。																							

	Webマーケティン グ	インバウンドマーケ ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ ティングを理解する	1	インバウンドマーケティ ングの概念とアプローチ	インバウンドマーケティングのアプローチを理解し、ター ゲットオーディエンスとの関係構築を通じてリード獲得や顧 客獲得を促進する能力を養う。												
13			ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ	ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ	ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ	ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ	ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ	ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ	ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ	ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ	ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ	ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ	ティング、SEO・SMO、 バイラル・バズマーケ	2		SEOとSMOの基本的な技術と戦略を理解し、ウェブサイトの可視性向上とソーシャルメディアでの影響力拡大をサポートする能力を磨く。	3
			3	バイラル・バズマーケ ティングの活用	バイラル・バズマーケティングの仕組みと成功要因を理解 し、コンテンツ制作と拡散戦略の計画を立てる能力を発展さ せる。												
			1		アンバサダー・ステルス・フラッシュ・020マーケティングの各アプローチとその利点を理解し、効果的なキャンペーン戦略を考案できる能力を身につける。												
14	Webマーケティン グ	アンバサダー・ステル ス・フラッシュ・020 マーケティング、ア フィリエイト、SNSを理 解する	ス・フラッシュ・020 マーケティング、ア フィリエイト、SNSを理	ス・フラッシュ・020 マーケティング、ア フィリエイト、SNSを理	ス・フラッシュ・020 マーケティング、ア フィリエイト、SNSを理	ス・フラッシュ・020 マーケティング、ア フィリエイト、SNSを理	ス・フラッシュ・020 マーケティング、ア フィリエイト、SNSを理	ス・フラッシュ・020 マーケティング、ア フィリエイト、SNSを理	ス・フラッシュ・020 マーケティング、ア フィリエイト、SNSを理	ス・フラッシュ・020 マーケティング、ア フィリエイト、SNSを理	ス・フラッシュ・020 マーケティング、ア フィリエイト、SNSを理	ス・フラッシュ・020 マーケティング、ア フィリエイト、SNSを理	2	アフィリエイトマーケ ティングの仕組みと利点	アフィリエイトマーケティングの仕組みと運用モデルを理解 し、提携パートナーやアフィリエイターとの協力を通じて売 上を増加させる能力を磨く。	3	
			3	SNS(ソーシャルネット ワーキングサービス)の 活用と戦略	主要なSNSプラットフォームの特性とコンテンツ戦略を把握し、ブランドのオンラインプレゼンスを強化し、顧客との関係を築く能力を向上させる。												
			1	ケーススタディの選定と 分析	リアルなビジネスシナリオに対するマーケティングの理解を 深め、実務に適用する能力を養う。												
15	課題演習(または 期末試験)		ケーススタディ分析を通じて問題解決のスキルを向上させ、 複雑なマーケティング課題に対処する力を身につける。	3													
			3	実際のビジネスケースを 通じて学生に実務的な マーケティングの知識と スキルを身につけさせる	リアルなビジネスケースに対して戦略的思考と創造力を発揮 し、独自のアイディアを提案する能力を向上させる。												

評価方法:1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等